

平成27年度 家庭ごみ有料化（案）  
各地区説明会にていただいた意見及びその回答

平成27年7月13日から7月16日まで

	関連項目	説明会にていただいた意見	市の回答
1	有料化について	料金は50円でもよいが、現在のごみ袋は破れやすいので、強度を強くしてほしい。	ごみ袋の材質については、原価の状況等いろいろと検討していく必要があるので参考にさせていただきます。
2		他市では、0～29円でごみ袋を買える理由は。	岐阜市は有料化しておらず、高山市、大垣市は、市販のごみ袋を購入し、シールを貼って出す方式で行っているためです。
3		ごみ処理に必要な経費は。	必要な経費は、1年間で10億3千万円程度かかっています。
4		1袋50円を今後さらに値上げする予定なのか。	現段階では考えておりません。
5		市の財政はそんなに切迫しているのか。ごみ袋の値上げによる減量策はおかしい。	国からの地方交付税が5年間で総額30億円削減される見込みです。その内、平成27年から3年間で約8億円削減される予定です。せき行財政改革アクションプランの取組項目でごみ処理経費の適正負担を計画しています。
6		関市と美濃市のごみの削減量の比較は市全体の排出量ではなく、1人当たりの排出量で比較すべき。美濃市の方が1人当たり排出量は多いのでは。	美濃市の1人当たり排出量を比較すると、美濃市の方が多くなっています。
7		有料化は仕方ないと思う。しかし、なぜ50円に設定したのか。袋を高くすればごみが減るという考え方はおかしいのではないか。	環境省の定める「一般廃棄物処理有料化の手引き」により、1ℓあたり1～1.5円がもっとも抑制効果が高いとされているため、50円に設定させていただきました。
8		50円に値上げして不足する財源に充てたいとのことだが、交付税が減額されることは既に前からわかっていたことではないのか。交付税の減少をごみ袋で補てんするのはおかしいのでは。	交付税の減額に対応するため、せき行財政改革アクションプランの中で財源確保の中の一つとして進めてきております。
9		2年前に議会にて否決になった理由を教えてください。	市民の皆様へ、有料化に伴う激変緩和策の説明が十分なされておらず、市民の皆様との合意形成が必要不可欠等の理由で、否決となりました。
10		他市と比べて関市の有料化の取り組みが遅いのでは。	平成27年4月現在、全国市区町村の有料化実施率は、62.8%となっております。

11		ごみ処理以外の他の部分で財源を確保して、料金を安くしてほしい。	減量効果を考えての50円ですので、この金額でお願いしています。
12	有料化について	ごみの有料化のみでは、交付税の減少分すべてを補えない。次の値上げを考えているのか。	せき行財政アクションプランの中で、税収入の確保、使用料の見直しを推進項目としています。
13		無料引換券のごみ袋の大きさは。	燃やせるごみ袋の大袋を予定しています。
14		旧ごみ袋の買い取りを市役所や市の機関以外に、ごみ袋販売店でも行ってほしい。	販売店での対応は困難なため、原則、市役所、市の機関でお願いします。
15		ごみ袋の料金を一括で上げるのか。	前は2段階で値上げする案でしたが、今回は段階的に値上げしない代わりに、激変緩和策として無料袋引換券の配布を予定しています。
16	激変緩和措置について	旧ごみ袋の併用期間6カ月は少し短いのではないのか。	できる限り新制度の周知を図り、スムーズに移行したいため、6ヵ月間と設定しました。使用期限を延長することは、旧ごみ袋がどうしても多数残っているのかという現行制度の問題点が懸念・不信感となりますのでご理解願います。
17		買い取った旧ごみ袋はどうするのか。	学校給食等の食品残さ収集運搬や市役所で行うボランティア活動等での使用を予定しています。
18	減免措置について	生活弱者とはどのような人を想定しているのか。	生活保護世帯、障がい者を想定しています。
19		ダンボールが燃やせるごみとして捨てられている場合がある。	燃やせるごみに出されている部分もあるため更なるPR、啓発をしていきます。PTAによる資源回収等を利用していただくなど、少しでも資源回収率を上げたいと考えています。
20	減量・リサイクルについて	値上がりのお話ばかりしてもごみ減量化にはつながらないのでは。ごみの減量化、処理費の削減のPRをさらにしてもらいたい。	広報紙等でごみの排出量の推移を掲載し、ごみの減量化について皆様に意識していただくと同時に、減量化の努力をされている方の取り組みも紹介したいと考えております。
21		2年前の説明会からリサイクルが進んでいないのでは。	小型家電のリサイクル、ダンボールコンポストの普及、ごみステーションの設置補助を新しく開始しました。
22		ごみ減量化プロジェクトを立ち上げてもらいたい。	ごみ減量化をさらに推進していくためリサイクル推進協議会や自治会連合会環境衛生部等と協議を進めます。

23	減量・リサイクルについて	過剰包装を止めさせないかぎり、ごみは減らない。色つきトレイを廃止し、すべて白色トレイにするよう働きかけてほしい。	企業側にも製品に使う原料の削減等をしていただくべきですが、市単独での働きかけは難しいため、県や各団体と共同して働きかけを行っていきたいと考えています。
24		関市はISO14001を取得されたが、今も継続しているのか。	ISOは取得・認証を受けていたが、経費の関係で継続しておりません。現在はISOの手法から学んだことにより、電気など使用量の内部基準を設けて独自に運用しています。
25		リサイクルの分別がしっかりできていない。	自治会、リサイクル推進協議会等を通じて、分別の徹底をお願いしていきます。
26		平成32年度までの削減目標を掲げていることは、大切なことだと思う。減量をする意識が大事だと思うが、具体的な対策はどうするのか。	さらなるごみの資源化を推奨します。
27		自転車、子供用品などのリユースを考えて欲しい。できなければ、情報提供をお願いしたい。	できる限りの情報提供を行います。
28		道路沿いに民間事業者が行っている古紙などの回収ボックスは違法でないのか。ペットボトル、缶についても常設の回収ボックスを設置してほしい。	違法ではなく、古紙回収業者が営利目的で行っています。今後、常設のリサイクルステーションの設置については検討していきます。
29		有料化によりごみを焼却される方が増えるのではないのか。	農業用に供するもの等を除き、ごみの焼却は違法行為となりますので、通報により速やかに指導させていただきます。
30		野焼き・不法投棄について	ごみステーションや公共の場の不法投棄は、自治会で処理を行わなければならないのか。
31	河川の不法投棄がなかなか回収されない。		関係機関と調整し、できるだけ早く対応します。
32	用水に流れてくるごみが増えた。有料化を行うとさらに増える可能性がある。不法投棄の具体的な対策は。		現在、洞戸などで河川パトロールを行っていますが、これを拡大し、また、不法投棄がひどい場所に監視カメラの設置を考えます。

33	現行制度について	購入券はいつから郵送になったのか。昔は自治会で配布していた。地域のつながりができていいことだと思う。自治会ごとに対応を分けられないか。	「自治会でなかなか手間をかけられない」「世帯の名簿まで自治会に送付しなければならなかった」「直接個人あてに郵送してほしいとの要望があった」「自治会に加入していない方にも届けなければならない」等の理由で10年程前から郵送にさせていただきました。 また、自治会ごとでの対応が難しいため一律に郵送しています。自治会の加入率も75%程度で、強制的に加入してもらうことも難しいと考えます。
34		1軒で2世帯分の購入権を配っているところがあるが、どのように管理しているのか。	住民登録上の世帯に配布しています。
35		ごみ減量はボランティアである。報償金制度はもっと早く止めてほしかった。	有料化に伴い、報償金制度は廃止する予定です。
36	ごみ収集について	家庭ごみ有料化後もクリーンプラザ中濃へ直接搬入はできますか。	家庭のごみについては、今までどおり10kgあたり150円の搬入手数料で直接搬入することができます。
37		燃やせないごみの収集回数を増やしてほしい。	近隣市の状況を把握しながら、検討します。